

小 松 市 教 育 委 員 会 会 議 録							
会 議 名		平成 30 年第 8 回小松市教育委員会定例会					
開 会 月 日		平成 30 年 7 月 19 日（木）		場 所	教育長室		
会 議 時 間		（開会） 午後 1 時 45 分 ～ （閉会） 午後 3 時 00 分					
休 憩 時 間		①（休憩） 午前・午後 時 分 ～ （再開） 午前・午後 時 分 ②（休憩） 午前・午後 時 分 ～ （再開） 午前・午後 時 分					
委員の出席		教育長	石黒 和彦	出席	委員	北村 嘉章	出席
		委員	蘆邊 千鶴子	出席	委員	吉原 慎吾	出席
		委員	中惣 恭子	欠席	出席委員 3 名，欠席委員 1 名		
出席説明者	教育次長 道端 祐一郎		出席	シニアマネージャー 山本 裕		出席	
	未来の教育課長兼教育研究センター所長 中谷 光恵		出席	教育庶務課長 三ツ橋 薫		出席	
	学校教育課長 吉田 明生		出席	学校教育課担当課長 村田 由美子		出席	
	市立高校事務長 山口 和博		出席	青少年育成課長 松野 真弓		出席	
	ひととものづくり科学館副館長 浅野 幸恵		出席	図書館副館長 山崎 みどり		出席	
	博物館・美術館館長 二木 裕子		出席	教育庶務課参事 中屋 清志		出席	
書 記							
傍 聴 者		0 名					
会 議 に 付 し た 議 題	【議案】						
	議案第 14 号 教育委員会事務事業点検・評価報告書（平成 29 年度事業対象）について（教育庶務課）						
	【報告事項】						
	・博物館・美術館の展覧会および行事について（博粒館・美術館）						
	・子育て講座について（教育研究センター）						
	・図書館行事等について（図書館）						
	・寄附受納について（図書館・市立高校）						
	・小松市立小・中・高等学校ブロック塀調査結果について（教育庶務課）						
	・尾小屋鉦山資料館企画展について（教育庶務課）						
	・図書寄附受納について（学校教育課）						
	・学力向上レベルアップ支援事業「こまつチャレンジスクール」について（学校教育課）						
	・ウォームアップ週間取組計画について（学校教育課）						
	・児童生徒交通事故発生状況について（学校教育課）						
	・平成 29 年度放課後児童クラブ自己評価の公表について（青少年育成課）						
・第 21 回全国子供歌舞伎フェスティバル in 小松 子供歌舞伎「勸進帳」実施計画							

会議に付した議題	について（青少年育成課）
	・ 古民家で学ぼう生きる知恵の開催について（青少年育成課）
	・ 青少年の国交流事業について（青少年育成課）
	・ 第 16 回公共建築賞・優秀賞の受賞について（ひととものづくり科学館）
	・ 小松っ子を育てる市民会議kらの寄贈について（ひととものづくり科学館）

教 育 委 員 会 報 告

平成30年7月19日

【議案】	
議案第14号 教育委員会事務事業点検・評価報告書（平成29年度事業対象）について	
所 管 部 課 名	教育庶務課
内 容	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づき教育委員会の権限に属する事務事業，平成29年度事業に係る報告書を作成。 学識経験者の講評については，30年度4月に開学した公立小松大学学長（山本博氏）に依頼。29年度事業の達成状況については概ね達成だが，部局間での情報共有，連携が図られていないとの指摘を受けた。 事務事業については，教育大綱の実現に向けた実施計画の目標ごとに分類し，PDCAに基づき点検，評価（A～D）を行った。 全81事業のうち78事業，96.％が「十分」、「概ね」達成との評価であった。 今年度の点検評価票を一部変更。アクションプラン目標値を記載することにより成果との比較が可能とした。
教育委員等の意見	【北村委員】 ・PDCAサイクルに基づき充実したわかりやすい客観的な点検評価となっている。 ・アクションプランの目標値，評価基準，客観的な評価及び用語説明欄など市民が見た場合のわかりやすい工夫がされている。 ・反省点を次年度以降の事業執行に活かしてほしい。 【蘆邊委員】 ・丁寧な点検，評価がされている。 ・評価基準が明示されているため良かった点，改善しなければならない点が目瞭然となっている。 ・C評価となっている「学力の向上」について，想定していた参加者なのか，また，チャレンジスクールに本来参加して欲しい児童，生徒への対応はどのようなになっているのか。 【石黒教育長】 ・A評価が増えているため，今後，「教育大綱」，「学びの道標」の見直しも検討していかなければならないのではない

	か。 ・C評価の事業については、29年度執行方法の検証が必要なのではないか。 ・チャレンジスクール参加児童は少ないと感じており、意欲のある児童，生徒を増やすことが今後の課題。
回 答	【三ツ橋教育庶務課長】 ・改善点については次年度以降の事業執行時に活かせるよう周知したい。 【吉田学校教育課長】 ・全国学力状況調査A問題正答率が達成できなかったのでC評価とした。 ・チャレンジスクール参加者数については、想定内の人数であり少ないとは考えていない。内容については、プリント学習に加えALTによるコミュニケーション能力向上も実施し、30年度も引き続き行う予定。また、金沢学院大学の学生ボランティアの活用も検討している。
	議案第14号 承認
【報告事項】	
件 名	博物館・美術館の展覧会および行事について
所 管 部 課 名	博物館・宮本三郎美術館・本陣記念美術館
内 容	① 本陣記念美術館 ・7月より「風景画家 東山魁夷と西山英雄」を開催中。作風が異なる風景画家の作品対比がテーマ。 ・学芸員による解説会，学芸員の開設付きバスツアーも実施予定。 ② 宮本三郎美術館 ・企画展「宮本三郎の描く人物」を開催。生涯と通して取り組んだ人物画を展示。 ・7月28日に「初めての油絵に挑戦！」を開催。新保甚平氏を講師に招き，親子で油絵に挑戦するもの。 ③ 宮本三郎ふるさと館 ・「ボン・ボヤージュ 宮本三郎旅絵画」を開催。海外で描いた風景画を展示。 ・「アートにチャレンジ！in松崎町」を開催。地域と協力した子供の芸術体験。今年度は，紙で力士を作成した紙相撲大会を実施予定。会場は松崎町公民館。 ④ 博物館

	・企画展「いしかわのきのこ こけ・みみワンダーランド」を開催。県内の豊富な種類のきのこを加賀、能登地区での呼び名（加賀地方：こけ、能登地方：みみ）を交えてきのこの性質、特徴などを千葉科学大学の協力を得て紹介。 ・7月22日、8月10日に「きのこの標本作り」を実施。標本作成にむかないきのこをフリーズドライにより標本を作製する企画。 ・また、千葉科学大学講師（粕谷氏）による顕微鏡を使ったきのこ観察会（8月10日）、展示解説（8月11日）も実施予定。
教育委員等の意見	【石黒教育長】 ・入館者は減少傾向にあるが、今年度は増加するのか。 ・意図のない展示会等には興味を示さない傾向があり、意図のあるものであれば人は集まる。色々な意味でチャレンジした年度となるようにお願いしたい。
回 答	【二木館長】 ・今年度は企画展を夏に「きのこ展」、秋に「工芸の冒険」を予定。秋の企画展に連動して窯展示館等で九谷焼関連の展示会開催を予定している。
件 名	子育て講座について
所 管 部 課 名	教育研究センター
内 容	・6月6日、7月6日に市PTA連合会母親委員会と共催で多賀クリックの多賀医師を講師に招き「子育て講座」を開催。 ・第2回目は市PTA連合会の会長研修と位置づけて実施したため、各学校の会長である父親も多数参加。 ・第3回目は9月6日に実施予定。テーマは「ボケてからも可愛がられる法」。
教育委員等の意見	特になし
件 名	図書館行事等について
所 管 部 課 名	図書館
内 容	・7月16日に千葉科学大学講師（粕谷氏）を講師に「きのこワールドへの招待」として講演会を開催。 ・夏休みに向けた行事として南部図書館で「ドライアイスであそぼう」（講師：ひとものづくり科学館職員）を開催。 ・ビブリオバトル高校生大会については現在参加者を募集中。 ・図書館友の会行事として幼児を対象にした紙芝居「のまりんの紙芝居劇場」を開催予定。

	・テーマ展示として「きのこ」にまつわる本や標本を展示。 ・夏にちなんだ怖い話や課題図書、自由研究、工作などにまつわる本も展示している。 ・夏休み期間中の学習支援として学習スペースの開放も行う予定。 ・「年齢別ベストリーダ」として小中学生の貸出し本を調査（4～6月）。今後は、学校図書室と連携したベストリーダも検討したい。 ・7月15日に「小松の町屋建築」をテーマに市史講座を実施。 講師は金沢工業大学建築学部教授の山崎氏。
教育委員等の意見	【石黒教育長】 ・読書離れ、読書格差が進んでいると感じた。 ・ベストリーダの中に図書館の推薦本は入っているか。 ・複数冊の導入も検討すべきではないか。 ・評価、調査、結果の関連性が重要。成果を出す方向で今後検討して欲しい。 【北村委員】 ・博物館と連携した事業は良かったのではないかと。教育委員会として大きな効果を生むということで単独ではなく連携して行うことが出来る仕組みを構築して欲しい。
回 答	【山崎副館長】 ・貸出本の中にはあるが、冊数が1冊しかないため短期間の集計ではベストリーダには入ってこない状況。 ・蔵書が多く保管場所等を考えると複数冊の導入は難しい。
件 名	寄附受納について
所 管 部 課 名	図書館・市立高校
内 容	・小松市美術協会より「第57回小松美術展“こまつの美”」での収益の一部が図書館及び市立高校に各100千円寄附（※）。 ※ 市立高校は現金、図書館は図書カード ・図書館について大型美術本、全集等を購入。 ・市立高校については卒業展示用のピックアップレールを校内等に設置。昨年度は第一コミュニティーセンターに設置し10点程度展示。今年度は、改修工事終了後のすこやかセンターに設置し5点程度展示する予定。また、近隣クリニック等に卒業作品の展示を依頼しており、市立高校を周知する取り組みを行っていただく。

教育委員等の意見	特になし
件 名	小松市立小・中・高等学校ブロック塀調査結果について
所 管 部 課 名	教育庶務課
内 容	・ 6月18日発生の大阪北部地震によりブロック塀が倒壊し児童が死亡した事故を受けて市立小中高校のブロック塀の調査を実施。 ・ 市立小中高校のブロック塀設置状況は次のとおり。 小学校 7校8箇所, 中学校 3校4箇所, 高校 1校1箇所 ・ 安全・安心のため対策が必要な学校・箇所数は次のとおり。 5校6箇所 ・ 撤去済は3校3箇所。その他, 対策が必要が学校については今後, 対処方法等が決定次第実施する予定。
教育委員等の意見	【北村委員】 ・ ブロック塀を生業としている方への配慮が必要。 ・ ブロック塀を撤去後はブロック塀を設置しないという認識で良いか。 ・ 通学路のブロック塀（私有地）については学校から依頼を行っているのか。 【吉原委員】 ・ 想定外を想定し, 未然に事故の発生を防止する対策が今後必要ではないか。 【石黒教育長】 ・ 通学路について色々な視点（想定外も含め）から検討していく必要がある。
回 答	【三ツ橋教育庶務課長】 ・ 防砂効果等もあるが, 現在設置されているブロック塀は老朽化が著しいもの。フェンスで代替できる場合はフェンスを, 難しい場合は防砂対策として一部残すことも検討しているが, 基本的にはフェンスの設置を考えている。 ・ 通学路の点検については, 文部科学省からの通知もあり, ブロック塀も含めた危険箇所の把握, 児童, 生徒への危険箇所の周知を依頼。
件 名	尾小屋鉱山資料館企画展について
所 管 部 課 名	教育庶務課
内 容	・ 明治150年を記念した企画展「此处ニ生キル」を開催。明治13年採掘開始から昭和37年閉山までの様子を写真や資料に基づき展示。

	・開催期間は7月1日から11月13日まで。
教育委員等の意見	【蘆邊委員】 ・学校へ行事等に絡めて周知をして欲しい。
回 答	【三ツ橋教育庶務課長】 ・学校へはチラシの配布等により周知したい。
件 名	図書寄附受納について
所 管 部 課 名	学校教育課
内 容	・小松ロータリークラブより小学校の読書教育充実を目的に、現金230千円（1校当たり10千円）、図書23冊（1校当たり1冊。「こころの育て方」（稲盛和夫監修））が寄附。
教育委員等の意見	特になし
件 名	学力向上レベルアップ支援事業「こまつチャレンジスクール」について
所 管 部 課 名	学校教育課
内 容	・苦手な単元のつまづき解消、スキルアップ及び主体的な学習態度・意欲の育てる目的に小中学校で実施。 ・参加者は昨年度と比較して減少。 ・課題としては、学校を巡回して実施しているため、継続した学習を希望する児童、生徒へ対応が困難であるということ挙げられるが、第一コミュニティセンターなど継続して取り組むことができる環境整備も検討したい。 ・昨年、ALTを活用し、授業で学んだ英語を使ったコミュニケーション能力の育成を実施した。今年度はALTが増員されるため、引き続き2期後半に同様の取り組みを実施予定。
教育委員等の意見	特になし
件 名	ウォームアップ週間取組計画について
所 管 部 課 名	学校教育課
内 容	・夏休みの最後の3～5日間を児童、生徒の学力補充、生活指導及び教育相談に活用し、2学期のスタートをスムーズに切ることを目的に実施。 ・昨年度の反省を踏まえ、小中学校へはウォームアップ実施にあたり明確な目的を設定したうえで実施するように指導。今年度の主な実施目標は次のとおり。 ① 生活リズムの調整、② 学力の定着、③学習時間確保、④ 教育相談・生徒指導、⑤ 人間関係構築

	・実施期間は次のとおり 小学校 3日(23校), 中学校 3日(8校) 4日(2校)
教育委員等の意見	【北村委員】 ・学力の定着も含めた当初の目標が達成できるような内容を検討して欲しい。また, 実施にあたり保護者との連携を大切にしたい。 ・複数の目標をあげているが, 実施目的の整理も重要ではないか。
回 答	【吉田学校教育課長】 ・学力の定着については, ウォームアップ期間以外の夏休み期間に対応している状況。
件 名	児童生徒交通事故発生状況について
所 管 部 課 名	学校教育課
内 容	・26, 27年度の多くの交通事故が発生しており, 重篤な事故も発生している。減少傾向にあるが無くなる状況にはなっていない。 ・教育委員会及び学校においても事故原因等の究明を行ってきたが, 大半が自転車による事故。 ・事故に対する学校への対応としては次のとおり。 ① 事故が発生しやすい場所の把握, ② 児童生徒による主体的な活動による事故防止, ③ ヘルメット着用, ④ 交通安全運動にあわせた指導, ⑤ 時節(降雨, 降雪など)にあわせた指導、⑥ 具体例を示した注意喚起 ・28, 29年度の発生件数は減少しているが, 事故に至らない危険な状況は発生している。
教育委員等の意見	特になし
件 名	平成 29 年度放課後児童クラブ自己評価の公表について
所 管 部 課 名	青少年育成課
内 容	・自己評価及び実地調査を踏まえた結果を8月1日より市ホームページで公表。 ・27年度より実施しており A 評価の割合は上昇している。 ・自己評価の実施により市が定める放課後児童クラブ運営基準を遵守する意識の定着が進んでいる。 ・自己評価については主観的な評価項目の見直し, 実地調査については特化した内容に見直すことを検討したい。
教育委員等の意見	【北村委員】 ・職員の研修参加回数より研修の内容が重要。職員質向上を目

	的とした研修の実施をお願いしたい。
件 名	第 21 回全国子供歌舞伎フェスティバル in 小松 子供歌舞伎「勸進帳」実施計画について
所 管 部 課 名	青少年育成課
内 容	・第 20 回の反省等を踏まえて、第 21 回については結団式及び稽古始めを 1 ヶ月前倒し。 ・第 21 回上演日程等は、実行委員会において次のとおり決定。 日時 2019 年 5 月 5 日～6 日 会場 こまつ芸術劇場うらら
教育委員等の意見	【北村委員】 ・本市の重要な伝統文化であるため多くの方が参加できるように P R をお願いしたい。 ・古典教室等の連携も踏まえて先を見据えた事業計画をお願いしたい。 ・指導者の育成も進めて欲しい。 【石黒教育長】 ・後継者育成については計画的に実施する必要がある。
件 名	古民家で学ぼう生きる知恵の開催について
所 管 部 課 名	青少年育成課
内 容	・憩いの森の古民家（中村家、米谷家）の屋根葺替え体験イベントを観光文化課と共催。 ・実施日時は次のとおり 日時 9 月 8 日～9 日
教育委員等の意見	特になし
件 名	青少年の国際交流事業について
所 管 部 課 名	青少年育成課
内 容	・ 7 月 16 日から 7 月 29 日の間、ゲイツヘッド市から訪問団 10 名が来松し、様々な体験及び交流を実施。 ・ 8 月 2 日から 8 月 10 日の日程で、中高生を含む訪問団 9 名がアンガルス市を訪問予定。
教育委員等の意見	特になし
件 名	第 16 回公共建築賞・優秀賞の受賞について
所 管 部 課 名	ひととものづくり科学館

内 容	・ 公共建築協会が実施する第 16 回公共建築賞優秀賞を受賞。
件 名	小松っ子を育てる市民会議からの寄贈について
所 管 部 課 名	ひととものづくり科学館
内 容	・ 小松っ子を育てる市民会議より昨年度に引き続き花苗及びプランターが寄贈された。
【その他】	
件 名	ひととものづくり科学館行事日程（7～10 月）について
所 管 部 課 名	ひととものづくり科学館
内 容	・ 夏休み期間中の特別展として「ヒルズロボットラボ」，「わたしと宇宙展」を開催予定。
件 名	次回教育委員会議日程について
内 容	日時：8 月 16 日（木） 午後 1 時 30 分 場所：小松市役所 6 階 教育長室
【教育委員からの意見・提言】	
北村委員	・ 自転車競技大会での児童の態度が悪かった。また，教員も注意を行っていなかった。教育委員会として指導をお願いしたい。 ・ 夏休み期間中の子どもが成長を促進するような取り組み（宿題，補習，個別指導など）をお願いしたい。また，家庭との連携も重視して欲しい。
蘆邊委員	・ 交通事故について周知を徹底して欲しい。 ・ 電気柵の危険性も周知して欲しい。
吉原委員	特になし